

働き方・仕事の進め方に関する職員アンケート調査結果概要

1 実施目的

職員の意見を後期アクションプランの取組項目の見直しに繋げるため。

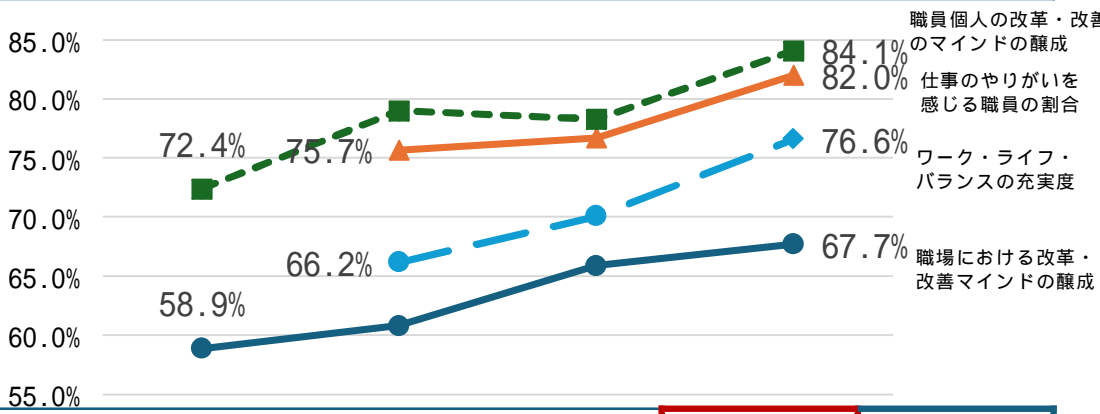
行革推進プランのアクションプランに定めるKPIの進捗確認のため。（職場・個人における改革改善マインド、WLBの充実度）

2 実施概要

実施期間	令和7年4月25日（金）～5月27日（月）
対象者	市長部局、教育委員会、消防局、各行政委員会に所属する職員及び会計年度任用職員（現業職員を含む）
回答数	1,280件 （正規職員 1,201件、会計年度任用職員 79件） 正規職員回答率 56.8%（1,201件/2,116人）

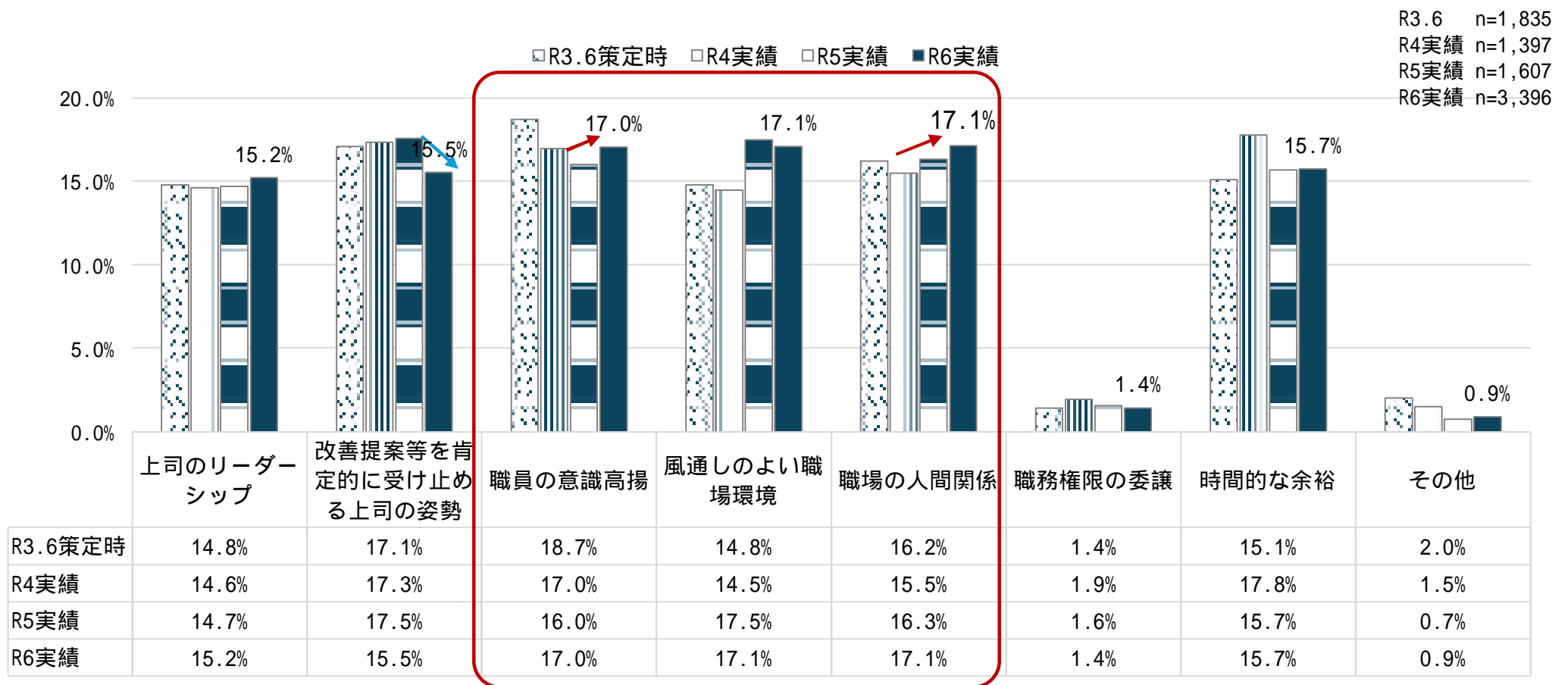
3 各種指標(KPI)に係る経年変化

- KPIの各項目は、昨年度と比較して全体として良い方向に改善している。
- BPRに関する実践研修や、モバイル端末の配付、オフィス改革などの効果と考えられる。
- 今回の結果は、令和6年度実施時と比較して回答率が上昇していることから、回答精度が上昇したことが大きく影響している可能性がある。（R6：23.8% R7：56.8%）



KPI設定区分	KPI（アンケート項目）	R3.6	R4実績 (R5.4)	R5実績 (R6.5)	R6実績 (R7.5)	R6目標
行革推進プラン基本目標 （総合計画経営4のKPI）	職場における改革・改善マインドの醸成	58.9%	60.8%	65.9%	67.7%	79.3%
総合計画経営2のKPI	仕事やりがいを感じる職員の割合		75.7%	76.7%	82.0%	
行革推進プランアクションプランのKPI	職員個人の改革・改善マインドの醸成	72.4%	79.0%	78.3%	84.1%	86.0%
行革推進プランアクションプランのKPI	ワーク・ライフ・バランスの充実度		66.2%	70.1%	76.6%	80.0%

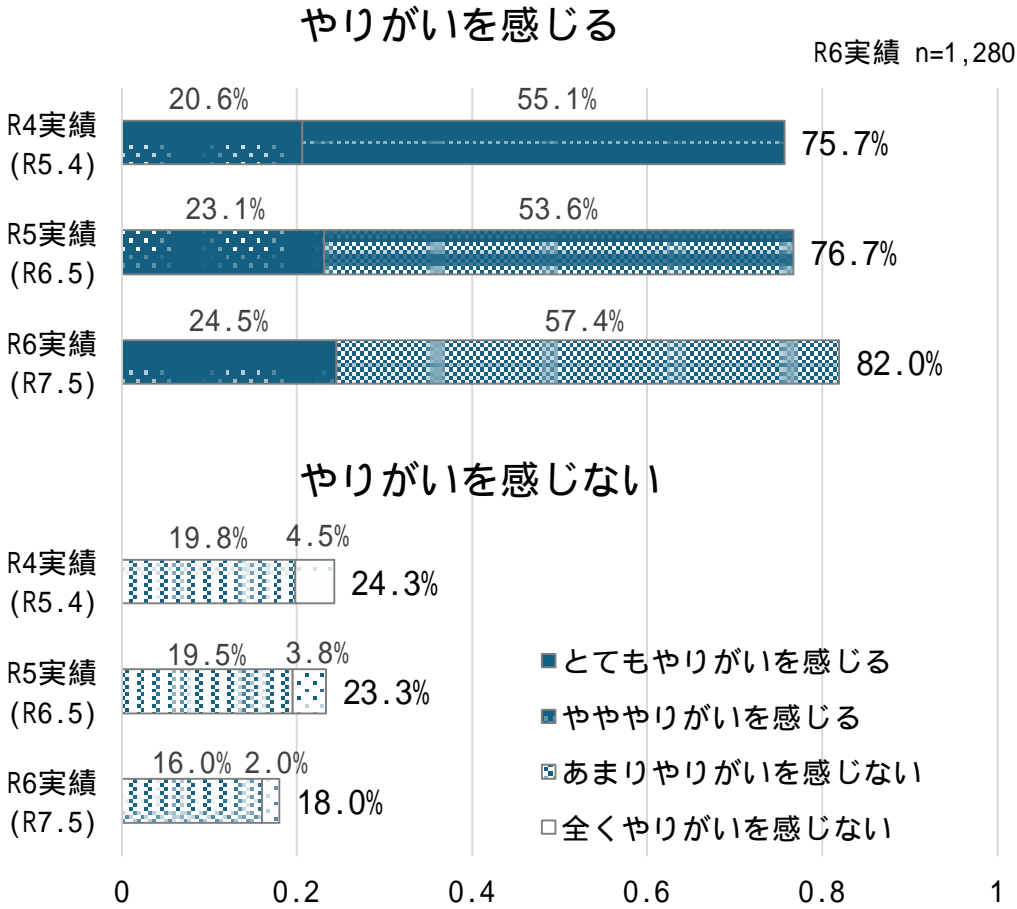
4 職場における改革・改善マインドの醸成を図るために必要なこと（経年変化）



- 職場における改革・改善マインドの醸成を図るために必要なことについて、今回の回答で職員の回答割合が高いのは、**職場の人間関係**、**職員の意識高揚**、**風通しのよい職場環境**の3項目
- **「職場の人間関係」とする意見が年々増加**
- これまで多かった**「改善提案等を受け止める上司の姿勢」**が減少し、**「職員の意識高揚」とする意見が増加**

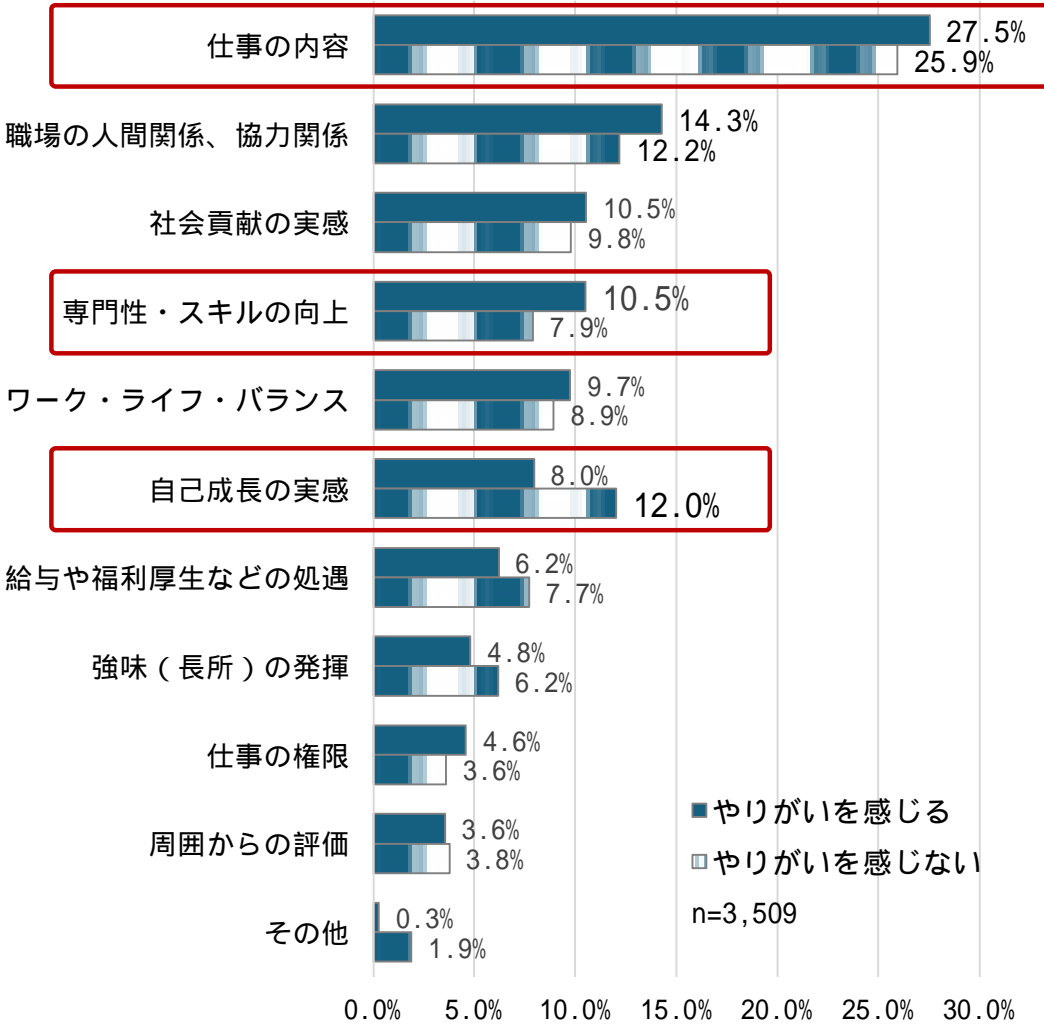
5 仕事のやりがい

「やりがいを感じる」が
R5年度実績76.7%に対し +5.3%↑



仕事に対してやりがいを感じる（または感じない）要因

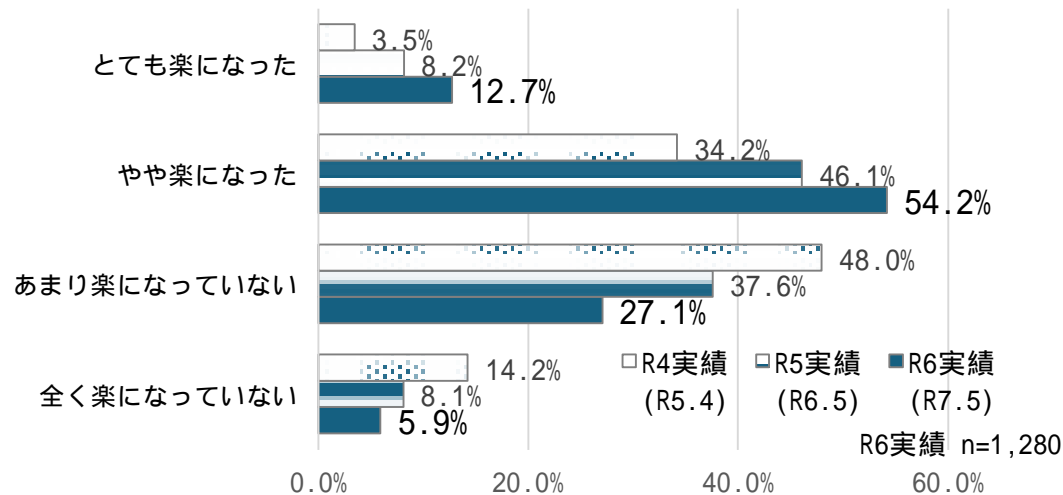
- 「仕事内容」がやりがいに関しての大きな要因
- 要因を比較すると、「専門性・スキルの向上」、「自己成長の実感」において「やりがいを感じる」群と「やりがいを感じない」群との差が大きい



R7年度実施 働き方・仕事の進め方に関する職員アンケート調査結果概要

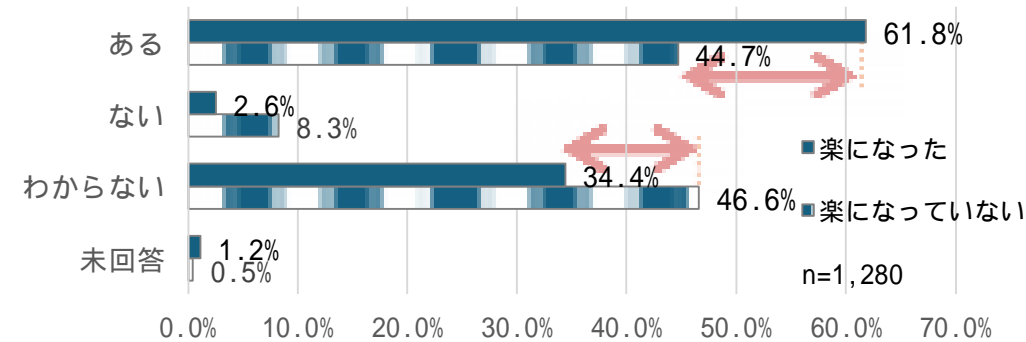
6 デジタル化による業務の変化

➤ デジタル化により**業務が楽になった**と感じている職員が年々増加



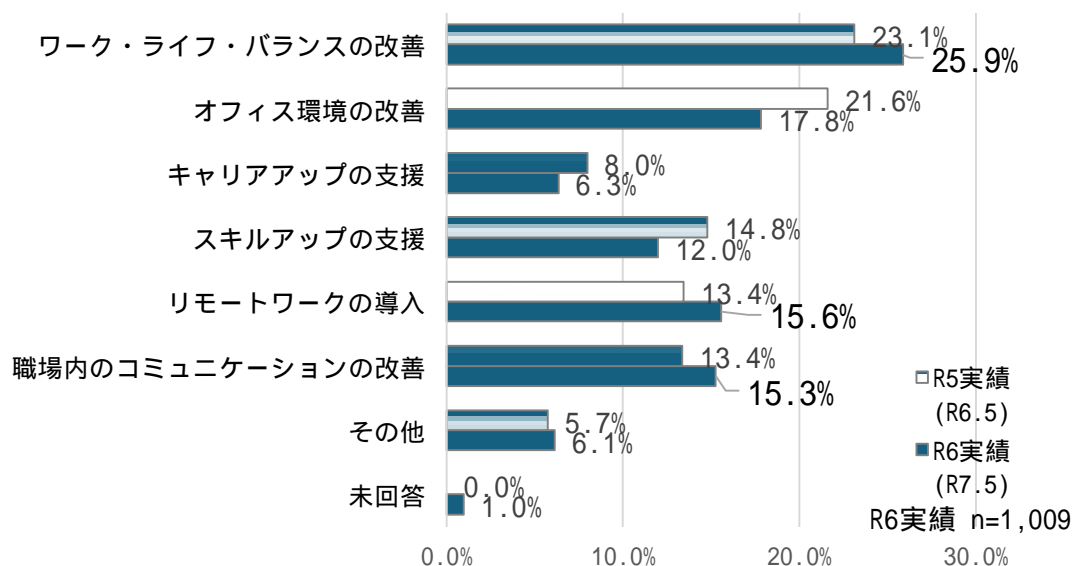
デジタル化によりもっと効率化できる部分の有無

- デジタル化により**業務が楽になった**と感じている方は、**もっと効率化できる部分がある**という意見の割合が多い。
- **楽になっていない**と感じている方は、効率化できる部分について「**わからない**」という意見の割合が多い。



7 働き方改革に足りないこと

➤ **ワーク・ライフ・バランスの改善**が最も多い



その他（自由意見）の概要

- **処遇・人事関連**
(評価制度の見直し、給与の見直し、職場環境の改善など)
- **業務見直し関連**
(窓口受付時間の見直し、部局横断的な連携・協力体制など)
- **DX推進関連**
(デジタルデバイド解消、デジタルスキルアップ研修など)
- **人材育成関連**
(意識改革、意識の共有・醸成、スペシャリストの育成など)
- **業務分担・人員配置等**
(適正な人事配置、公平な業務分担など)
- **オフィス環境・多様な働き方**
(リモートワーク、フレックスタイム制など)